

# Elevation of the vitreous body concentrations of oxidative stress-responsive apoptosis-inducing protein (ORAIP) in proliferative diabetic retinopathy

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 裕太 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032707">https://doi.org/10.20780/00032707</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3060 号	氏 名	鈴木 裕太
審 査 委 員 会	主 査 教 授	飯田 知弘	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>糖尿病網膜症の進展には虚血に伴う血管新生が重要であるが、虚血後再灌流時に生じる酸化ストレスの関与については不明である。酸化ストレス応答性アポトーシス誘導因子 <b>ORAIP</b> は再灌流を受けた組織から分泌され、細胞にアポトーシスを導くリカンドとして発見された。本研究は糖尿病網膜症における硝子体中 <b>ORAIP</b> 濃度および硝子体組織における <b>ORAIP</b> の発現と、網膜症の重症度との関連を明らかにすることを目的としている。硝子体手術を施行した増殖糖尿病網膜症 (PDR) 群 30 眼、非増殖糖尿病網膜症 (NPDR) 群 11 眼で、硝子体中 <b>ORAIP</b> 濃度を ELISA 法にて測定、組織発現は免疫染色によって確認した。PDR 群の硝子体中 <b>ORAIP</b> 濃度は NPDR 群より有意に高値であったが、PDR の重症度と <b>ORAIP</b> 濃度の間には相関を認めなかった。硝子体組織における <b>ORAIP</b> の発現は PDR 群で強い傾向が見られた。本研究は硝子体中 <b>ORAIP</b> が組織障害に重要な役割を果たしている可能性を示唆しており、学位授与に値する研究として高く評価された。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			